

若手研究者向け助成金プログラム

エディテージ・
グラント助成額
100万円
×
5名

エディテージ

若手研究者向け助成・支援プログラム

エディテージの若手研究者支援プログラムは、自身の研究によって社会にインパクトを与えたいと願う若手研究者に、経済的支援、メンターシップ、キャリアガイダンスを提供することを目的としています。

若手研究者がキャリアを形成する過程には様々な困難がありますが、その過程において周囲のサポートを十分に受けられないことも稀にあります。そこで私たちは本支援プログラムを通じて、将来性のある研究者が複雑な研究環境に対応しながら自立し、リーダーシップを発揮できるようになることを目標としています。

この支援プログラムでは、5名の受賞者に研究活動に関わるすべての費用に充当できる助成金として100万円が授与されます。

選考方法 英文エッセイ・プレゼンテーションの内容を基に評価

応募締め切り 2023年1月31日(火)

結果発表 2023年4月

対象 22歳～35歳の研究者の方

<https://www.editage.jp/grant>若手研究者
支援プログラム

一次選考を通過した応募者の方には、エディテージ設立20周年を記念した特別プログラムとして、2023年5月までの間、研究者としての成功をサポートするためのツールや、エディテージが独自に開発した研究者のためのプラットフォームを提供します。

助成対象者

以下の全ての条件を満たす方が対象となります。

- 2022年11月1日の段階で、満年齢が22歳以上35歳以下であること。
- 修士号または同等の高等研究学位を取得していること。
- 応募書類及びエッセイに記載された研究活動は、過去3年以内に実施・管理されたものであること。

これまでに論文を投稿していない方や、資金援助を受けていない方、または2023年4月26日までの過去365日間に資金援助を受ける予定のない方が優先されます。

助成金の分配について

全応募者の中から20名のファイナリストを選出します。

上位5名には100万円が授与され、15名には合計10万円分のエディタージサービスクーポンが贈呈されます。

主なスケジュール

応募締切 2023年1月31日
一次選考 2023年2月
インタビュー 2023年3月
受賞者発表 2023年4月

応募方法

1. 応募の最終締め切りは、2023年1月31日20時59分です。
2. エッセイは2,000単語以内で、英語で書かれたものであること。内容のみを評価し、英語のクオリティは問いません。(アメリカ英語またはイギリス英語いずれも可。)

3. エッセイには、以下の内容を含めてください。

- (1) どのような本質的な問題、課題、地域社会のニーズに取り組もうとしているのか。
- (2) この問題の解決に向けて取り組む動機は何か。また、解決できると考える根拠は何か。
- (3) エディタージからの100万円の助成金は、目標に近づくために、どのように役立つか。
- (4) これまでの研究者としての実績は何か。また、5年～10年後の目標は何か。

書類選考方法

応募書類は二段階で審査されます。

- (1) 応募書類審査
- (2) 選考委員会による審査

最終選考に残った候補者の方には、事前にZoomで英語インタビューの練習サポートをご提供します。

英語インタビュー・プレゼンテーション

プレゼンテーション用のスライドを事前にご用意の上、インタビュー冒頭でプレゼンテーションをしていただきます。

インタビューでは、応募書類、エッセイ、プレゼンテーションが審査の中心となります。選考委員会は、エッセイの構成や明瞭さ、学術的な質と意義といった一連の基準にわたって評価します。

受賞者の決定

最終的な受賞者は選考委員会によって決定の上、2023年4月中に通知される予定です。

結果発表

受賞者の方々のために、会場での表彰式を予定しています。

過去の受賞者

※所属・職位は受賞当時のものです。



田川 要

筑波大学
人間総合科学研究科
博士課程

この度は英文校正グラントに採択いただき感謝申し上げます。現在、私は大学院生としてデータ収集、論文の執筆をおこなっています。最近は論文執筆に力を入れているため、今回採用いただけたことは非常にうれしく思います。これを機会に科学の発展に寄与する研究を進めていけるように精進してまいります。



松本 一記

大阪大学大学院連合
小児発達学研究所(千葉校)
特任研究員

今回いただいたグラントは、この博士論文で大切にに使わせていただく所存です。若手研究者にとって、御社が提供されるグラントは大変貴重です。今後も、医学の発展と人類の健康に尽くすべく、研究に励んで行きます。



菅野 康太

鹿児島大学 法文学部
人文学科心理学コース 講師

今回の採択は本当に救われました！(自腹を覚悟していました)。論文がないと次の研究費もままならないです。



丸谷 康平

埼玉医科大学 保健医療学部
理学療法学科 助教

私のような若輩者の研究者にとってこのようなグラントは大変に有難いです。地域の方々の頭も身体も元気にして、健康寿命の延伸に貢献できればよう今後も邁進していきます。



時野谷 勝幸

筑波大学大学院 人間総合科学研究科
スポーツ医学専攻 博士後期課程

今回のグラント採択も1つの勢いにして、博士号取得を目指して今後とも頑張ります。